

# 令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

コープいしかわは震災で被害に遭われた皆さまが日常の暮らしと笑顔を取り戻すその日まで、寄り添い続けていきます。組合員や全国の生協とともに社会の一員として取り組んだことを報告します。(7月12日記)



どこにいても安心して  
利用ができるように

## 組合員を探して仮設住宅を訪問

組合員の安否確認や所在確認を進めるため、仮設住宅を職員が訪問しています。また生活環境が変わりお買い物に不便を感じている方へコープの宅配が暮らしのお役に立てるようご案内しています。これまでに3,018件(6月22日現在)の仮設住宅を訪問しました。

## 能登復興推進プロジェクト 始動

5月から新設の部署「能登復興推進室」が進める、部署を横断したプロジェクトが発足しました。役員や宅配事業の責任者、ののセンターや組合員活動部職員で構成し、復興と暮らしの再建のため、コープいしかわがめざす復興の姿を具体化していきます。



▲ののセンターまたは、のの北部センターで開催

## 支援の思いを共有「つながる力で能登を笑顔にミーティング」

コープいしかわと日本生協連が能登の長期的な支援を見据えて、能登の復旧復興に必要なことと全国の生協からの支援の思いをつなげるオンライン会議の第1回が6月19日(水)に開かれました。第1回では、コープいしかわから復旧復興がなかなか進まない能登の現状を知らせ、これまでに支援に入っている生協からの活動報告などを聞き、支援の手がかりとなる情報共有の場となりました。ミーティングは隔週の水曜日に定期的に開催されます。これからも「どこよりも長く、そしてきめ細かくよりそって」の思いで、支援する生協と支援先のつながりをつくっていきます。



▲多くの生協から参加がありました

コープのつながりを  
復興の力に

## 全国の生協職員が 穴水町ボランティアセンター支援

6月から8月にかけて、毎週金・土・日曜の3日間、コープいしかわと日本生協連、全国の生協の職員が穴水町災害ボランティアセンターで運営支援をしています。



県外の団体や  
生協職員が運営支援

## 仮設住宅へ コープの調味料セットをお届け

日本生協連のご協力を得て、仮設住宅の入居者へコープの調味料セットを寄贈・お届けしています。2月末から始まり7月12日までにのべ119の仮設住宅、3,760世帯へお届けしています。



▲6月28日(金) 輪島市内の仮設住宅  
3カ所37世帯へお届け



▲入居前のキッチンにお手紙を添えて

地域とともに

## 組合員が穴水町でボランティア

6月21日(金)、6名の組合員と職員が穴水町で災害ボランティアに参加しました。午前中に個人宅の台所で食器や棚の中の片付けをし、午後からは穴水陸上競技場に建設された仮設団地「由比ヶ丘団地」にある町民とボランティアの交流拠点「ボラまち亭」の運営のお手伝いをしました。



▲ボラまち亭でお店番をしながら  
町民の方と交流

## \* 参加者感想 \*



お手伝いしたお宅の方が、「被災したすぐの頃は本当につらかった」としみじみ言われました。物、心の両面で支え、孤独死を出さない方を継続するの必要を感じました。

ちょっとしたことでも喜んでもらえてうれしかったです。



## 継続中

●野々市市の2次避難所へおにぎり50個を毎日お届け。おにぎりは米心石川様が製造・納品。●金沢市が給与するみなし仮設用生活用品を「くらしと生協」で調達。8月末まで延長。●輪島市で避難者向け弁当を毎日、各拠点まで納品。7月から約500食に変更。●粟津温泉の2次避難所の食事を毎日お届け。昼食はコープこまつ、夕食は小松センターから弁当を配送。

組合員ができることから  
復興支援に取り組む  
応援ボランティア  
登録募集中!

こちらから  
登録は



**Q** 店舗にあるCO・OP商品のウイナーやベーコンに発色剤が使われていることが、とても残念です。CO・OP商品は発色剤を使用しないでほしいです。



組合員の声

**A** CO・OP商品は発色剤の安全性を確認した上で食品添加物使用基準に基づき、商品を開発しています。

かつて発色剤(亜硝酸ナトリウム)は食品中の成分と反応して発がん物質ができるといわれており、生協では亜硝酸ナトリウム不使用の「無塩せき」商品のみを取り扱っていました。科学の進歩とともに、人の健康に悪影響を与えるという根拠はないことがわかり、現在では亜硝酸ナトリウム使用の商品も取り扱っています。発色剤は食品の見た目を良くするだけでなく、微生物の増殖を抑え賞味期間を長くできる、食肉製品の風味を醸成するという利点があります。発色剤をはじめ食品添加物の食品への使用基準は、食品衛生法で厳しく定められています。

**Q** 「春キャベツ(700g以上)」とチラシに書かれていたので、柔らかく甘い春キャベツだと思い注文したのですが、実際に届いたのは硬くて分厚い冬キャベツでした。

**A** 春キャベツは植え付けが年内か年明けかで硬さが変わります。

12月に植え付けしたものは越冬するため収穫まで4カ月を要し、春キャベツでも硬くなる傾向にあります。一方、年明け2月に植え付けしたものは、生育期間が短く、葉がふんわりとした柔らかいキャベツに育ちます。今回お届けした商品は春キャベツには間違いありませんが、年内定植の栽培期間の長いものだったため、比較的硬めのキャベツがお届けされていました。今回いただきました声を真摯に受け止め、今後は紙面のご案内などご理解をいただける対応を心掛けてまいります。

## コープいしかわの姿

2024年4月1日~2024年5月31日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高(億円)	22.3	22.4	22.6
店舗事業供給高(億円)	7.0	7.3	6.8
経常剰余金(万円)	-1,301	1,121	-3,689

出資金: 71億9,241万円 (UP 4,270万円)

組合員数: 166,663人 (UP 451人)

(カッコ内は前月比)

## 5月度安全確認情報

(4月21日~5月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	191品
定例企画商品	270品
残留農薬検査	4品
ヒスタミン検査	1品
アレルギー検査	1品

## 組合員の環境貢献度(6月度)

商品カタログ回収率 **69.2%**

注文書袋・保冷箱内袋回収率 **20.1%**

## 理事会だより

2024年度 第2回 6月27日(木)開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

### 決まったこと

#### 1.5月度事業・経営報告 承認の件

- 「じわもーる」カタログでは、能登地域のメーカー特集の企画を行い、多くの組合員が商品利用を通して応援しました。
- 移動スーパーコボ丸便2号の停留所は、4月末の41停留所から5月末には46停留所に拡大するなど、生協のある暮らしが地域に広がりました。
- 第25回通常総代会で提案する議案を事前に説明してご意見を伺う「春の総代会議」に296名の総代が参加しました。参加した総代からは、能登半島地震における生協の取り組みに多くの期待やエールなどの声が寄せられました。
- コープいしかわが協賛している「クリーンビーチいしかわ」が5月25日(土)に開催され、組合員とその家族33名が白山市徳光海岸会場で海岸清掃に参加しました。

#### 2.第1四半期まとめと第2四半期方針 承認の件

#### 3.北陸3生協店舗システム構築における共通領域要件定義費用の承認及び中間報告について

#### 4.2024年度理事報酬額 決定の件

### 報告されたこと

- 1.就業規則・給与規程などの一部改定について
- 2.第25回通常総代会報告(速報)
- 3.加盟団体総会議案の組織判断(コープ北陸)